

JTU 指導者養成講習会は、トライアスロンの未経験者～中級者を対象として、競技を安全かつ正しく指導するための知識を学ぶ講習会です。この講習会のカリキュラムは、(公財) 日本スポーツ協会 (以下、JSPO) トライアスロンコーチ 1 の専門科目に該当します。なお、JSPO トライアスロンコーチ 1 の資格取得には、JTU 指導者養成講習会および JSPO 共通科目 I の修了が必要です。

1. 講習会日程と会場 基本的に土曜日・日曜日や祝日を利用した 2 日間。  
全国各地で開催。(JTU の HP で発表)
2. 受講資格 受講年度 4 月 1 日現在 18 歳以上の JTU 登録者で、次の①～⑦のいずれかに該当する者。なお、資格取得後も継続して JTU 登録会員であること。

①	トライアスロン大会の完走記録保持者。過去に完走したスタンダードディスタンスの大会 (51.5km) で、参加当時の年齢を基準とする。 30 歳以下 (男子：2 時間 30 分以内、女子：2 時間 45 分以内) 31～40 歳 (男子：2 時間 45 分以内、女子：3 時間 00 分以内) 41～50 歳 (男子：3 時間 00 分以内、女子：3 時間 15 分以内) 51～60 歳 (男子：3 時間 15 分以内、女子：3 時間 30 分以内) 61 歳以上 (男子：完走、女子：完走)
②	ロングディスタンスタイプの場合は、上記①を基準に指導者養成委員会が認めた者。
③	上記記録に相当するスイム、バイク、ランの記録保持者及び 3 種目のいずれか 2 種目以上の指導者資格保持者。
④	スイム、バイク、ランのいずれかの個別種目の指導経験がある者。
⑤	JTU コーチングシンポジウム、JTU 指導資格者研修会、JTU トライアスロン研究会に参加した者。
⑥	JTU 加盟団体の推薦を受け、JTU 指導者養成委員会が認めた者。 (加盟団体の推薦を受け、推薦理由を記載した推薦書を提出する)
⑦	JTU 指導者養成委員会が認めた者。(上記①～⑥のいずれにも該当しないが、受講を希望する者は、その理由と略歴等を A4 用紙 1 枚程度の文章にまとめて提出する)

3. 受講料 17,000 円 (施設使用料、テキスト代を含む。交通費、宿泊費、食費は各自負担)

#### 4. カリキュラム

科目	時間
スイム講義	1
スイム実技	1.5
バイク講義	1
バイク・トランジション実技	1.5
ラン講義	1
ラン実技	1.5
指導者の心得・競技の歴史	1.5
基礎理論	1.5
競技ルール	1.5
バイクメンテナンス	1.5
コンディショニング実技	1.5
レポート提出	5
<b>合計</b>	<b>20 時間</b>

(別途、筆記試験有)

5. 登録料 5,000 円 (別途、システム利用手数料が必要)

#### 6. 講習会受講の手順

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| ① JTU の HP にて講習会募集要項発表 | ⑤ 指導者登録システムへの登録、登録料納入 |
| ② 受講申し込み及び受講料納入        | 及びレポート提出              |
| ③ 講習会受講                | ⑥ 修了証発行 (PDF)         |
| ④ 講習会修了認定及び JTU 理事承認   | 以上                    |

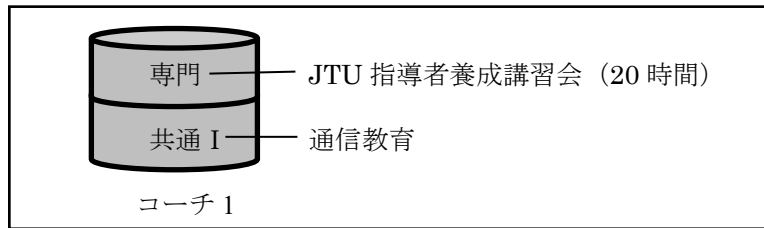
### 1. 日本スポーツ協会公認指導者資格概要

日本スポーツ協会（以下、JSPO）公認の指導者資格にはコーチ 1～4 などがあり、現在トライアスロンで認定されているのは「コーチ 1」「スタートコーチ」資格である。

カリキュラムの詳細は [https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html#coach\\_cul](https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html#coach_cul) を参照。

### 2. JSPO 公認トライアスロンコーチ 1 概要

JSPO のコーチ 1 資格は「専門科目 20 時間以上」と「共通 I」の 2 つを修了する必要がある。専門科目は「専門」という名称の通り、各競技の専門的な講習を行う。例えば、水泳の場合は日本水泳連盟、陸上の場合は日本陸上競技連盟、そしてトライアスロンの場合は JTU が講習会を行う。JTU では指導者養成講習会にて 20 時間の講習を行っている。共通 I は「共通」という名称の通り、全競技共通の講習であり、水泳も、陸上も、トライアスロンも、講習内容は同じである。講習形式は座学ではなく、NHK 学園の通信教育を受講する。テキストを読み、課題を郵送で提出する。



資格は基本的には「JTU 指導者養成講習会→共通 I→JSPO トライアスロンコーチ 1」という順序で取得する。(例外あり。後述 4. を参照)

#### 【共通 I 申込方法】

(1) JSPO の HP から「指導者マイページ」に登録する。

<http://www.japan-sports.or.jp/> (指導者マイページは誰でも登録可能)

(2) マイページにログイン後、「資格を取得する」→「養成講習会検索」→「トライアスロンコーチ 1」を検索して申し込みを行う。免除の実施は「する」を選択。共通科目は「免除しない」を選択。専門科目は「免除を行う」を選択し、資格名に「日本トライアスロン連合専門科目修了者」と記入して修了証を添付する。

(3) 申込期間は例年 4 月下旬～6 月末だが、正式な期間は JSPO の HP にて確認すること。

(4) 後日、共通 I のテキストが送られて来るので、学習開始。

### 3. 共通 I 受講料 19,800 円

コーチ 1 登録料 初回 23,000 円 (4 年間) / 更新 20,000 円 (4 年間)

### 4. 共通 I 受講免除規定

日本トライアスロン連合専門科目修了者が次の条件を満たす場合は、共通 I の受講が免除され、JSPO トライアスロンコーチ 1 に認定される。

[1]すでに公認スポーツ指導者資格（コーチングアシスタントなど）を保有している。

[2]免除適応コース修了証明書を保有している。

[3]その他関連資格を保有している。

詳細は <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/225/Default.aspx> を参照。

#### 【共通 I 免除申請方法】

(1) JSPO 「指導者マイページ」に登録する。(前述参照)

(2) マイページにログイン後、「資格を取得する」→「免除免除申請」→「トライアスロンコーチ 1」を検索して申請を行う。共通科目の免除内容は、各自該当の項目を選択。JSPO 公認有資格者は添付書類不要。免除適応コース修了者は証明書類を添付する。コーチングアシスタントは「その他免除理由」を選択して証明書類を添付する。専門科目の免除対象資格名は「日本トライアスロン連合専門科目修了者」と記入して修了証を添付する。

(3) 申請は随時可能だが、締め切りが年に 2 回ある。5 月末までに申請すると 10 月にコーチ 1 に認定され、11 月末までに申請すると翌年 4 月にコーチ 1 に認定される。

5. JTU 指導者養成講習会未受講者は、講習会を受講する前に JSPO コーチングアシスタントを取得しておく、効率的にコーチ 1 資格を取得することができる。コーチングアシスタントの詳細は <https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html#ca> を参照。

以上

(公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 公認初級・中級指導者  
＜コーチ 1 資格取得の手引き＞

更新：2021 年 4 月 1 日

1. 初級指導者

日本スポーツ協会（以下、JSPO）コーチ 1 またはスタートコーチの取得を各自で選択。  
コーチ 1 については本シート、スタートコーチについてはシート 4 を参照。

(1) 18 時間の講習会（2006 年以降）を受講済みの場合

研修会（3 時間以上）を受講することで、JSPO トライアスロンコーチ 1 の専門科目修了と認定し、「日本トライアスロン連合専門科目修了者」の修了証を発行する。

【対象となる研修会】

- ①JTU コーチングシンポジウム
- ②JTU 指導資格者研修会
- ③JTU 主催のトライアスロンに係る研究・発表会
- ④JSPO 主催の研修会
- ⑤都道府県体育協会（またはスポーツ協会）主催の研修会
- ⑥その他の団体が実施する研修会
  - a. 日本障がい者スポーツ協会が主催する研修会
  - b. 健康・体力づくり事業財団が実施する（認める）認定講習会
  - c. 一次救命処置（BLS）講習
    - \*赤十字救急法基礎講習
    - \*赤十字救急法救急員養成講習
    - \*赤十字短期講習会（但し、3 時間以上のもの）
    - \*消防庁（署）普通救命講習
    - \*消防庁（署）上級救命講習
    - \*消防庁（署）応急手当普及員・指導員

【研修会受講実績の有効範囲】

講習会を受講して、資格を取得した後（または直近で更新した後）とする。

例. 2019 年度に初級講習会を受講した場合

正式に資格が認定されるのは 2020 年 4 月 1 日のため、これ以降の研修会を有効とする。

2019 年度初級受講→2020 年 4 月 1 日初級認定→これ以降の研修会を有効とする。

2018 年度初級受講→2019 年 4 月 1 日初級認定→これ以降の研修会を有効とする。

2017 年度初級受講→2018 年 4 月 1 日初級認定→これ以降の研修会を有効とする。

2016 年度初級受講→2017 年 4 月 1 日初級認定→これ以降の研修会を有効とする。

2019 年 4 月 1 日付けで初級更新→これ以降の研修会を有効とする。

2018 年 4 月 1 日付けで初級更新→これ以降の研修会を有効とする。

2017 年 4 月 1 日付けで初級更新→これ以降の研修会を有効とする。

2016 年 4 月 1 日付けで初級更新→これ以降の研修会を有効とする。

【受講証明書の提出】

・JTU 主催の研修会（①②③）

提出は不要。JTU 指導者養成委員会が受講履歴を確認する。

・JTU 以外の団体が主催する研修会（④⑤⑥）

提出が必要。指導者登録システムにて、PDF（例. スキャナーで取り込む）または JPG（例. スマホやデジカメで撮影）をアップロードする。

(2) 9時間の講習会（2005年以前）を受講済みの場合

シート1の新カリキュラムの講習会（集合講習15時間）を受講する。但し、レポート作成（5時間）は免除。また、研修会の受講も不要。講習会を修了次第、JSPO トライアスロンコーチ1の専門科目修了と認定し、「日本トライアスロン連合専門科目修了者」の修了証を発行する。

2. 中級指導者

全員、「日本トライアスロン連合専門科目修了者」に移行する。中級資格証は、期限内であれば有効。JSPO トライアスロンコーチ1の取得申請をする際はJSPOに中級資格証を提出するが、有効期限内であれば受理される。期限が切れた場合は移行申請を行い、「日本トライアスロン連合専門科目修了者」の修了証を取得すること。

3. 移行申請

(1) 対象：初級指導者で研修会受講済みの方  
中級指導者全員

(2) 指導者登録システムにて申請手続きを行う。

(3) 登録料：なし（但し、システム利用手数料が必要）  
有効期間：なし

(4) 申請後、JTUが確認作業を行う。（約1週間）

(5) 上記システムの「申込確認」から、各自で「日本トライアスロン連合専門科目修了者」の修了証（PDF）をダウンロードする。なお、指導者登録システムの稼働は年度毎のため、申請の翌年度以降に修了証の再発行を希望する場合は、再度システム利用手数料が必要。

以上

## (公財) 日本スポーツ協会公認トライアスロンスタートコーチ資格取得の手引き ＜対象：JTU 初級指導者＞

更新：2021年4月1日

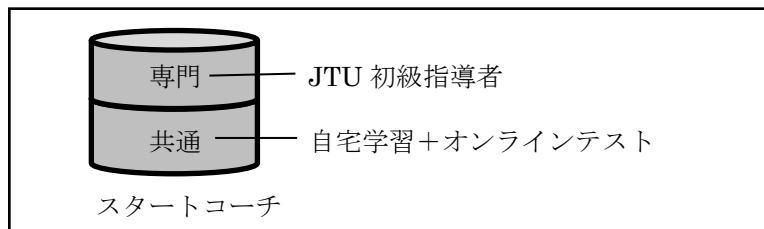
### 1. 日本スポーツ協会公認指導者資格概要

日本スポーツ協会（以下、JSPO）公認の指導者資格にはコーチ1～4などがあり、現在トライアスロンで認定されているのは「コーチ1」「スタートコーチ」資格である。

カリキュラムの詳細は [https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html#coach\\_cul](https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html#coach_cul) を参照。

### 2. JSPO 公認トライアスロンスタートコーチ概要

JSPO のスタートコーチ資格は「専門科目」と「共通科目」の2つを修了する必要がある。トライアスロンの場合は「JTU 初級指導者＝専門科目修了」と認定される。共通科目は集合形式の座学ではなく、自宅学習＋オンラインテストの形式で受講する。



#### 【スタートコーチ共通科目申込方法】

- (1) JSPO の HP から「指導者マイページ」に登録する。  
<http://www.japan-sports.or.jp/>（指導者マイページは誰でも登録可能）
- (2) マイページにログイン後、「スタートコーチ移行講習会」に申し込む。
- (3) 受講料を JTU 指導者登録システムにて支払う。
- (4) リファレンスブックスタートコーチを購入。リファレンスブックを基に一定の期間、自宅学習。
- (5) JSPO の e-ラーニングシステム「スマートスタディ」を用いてオンラインテストを受講。
- (6) 合格後、スタートコーチ資格取得の手続きを行う。

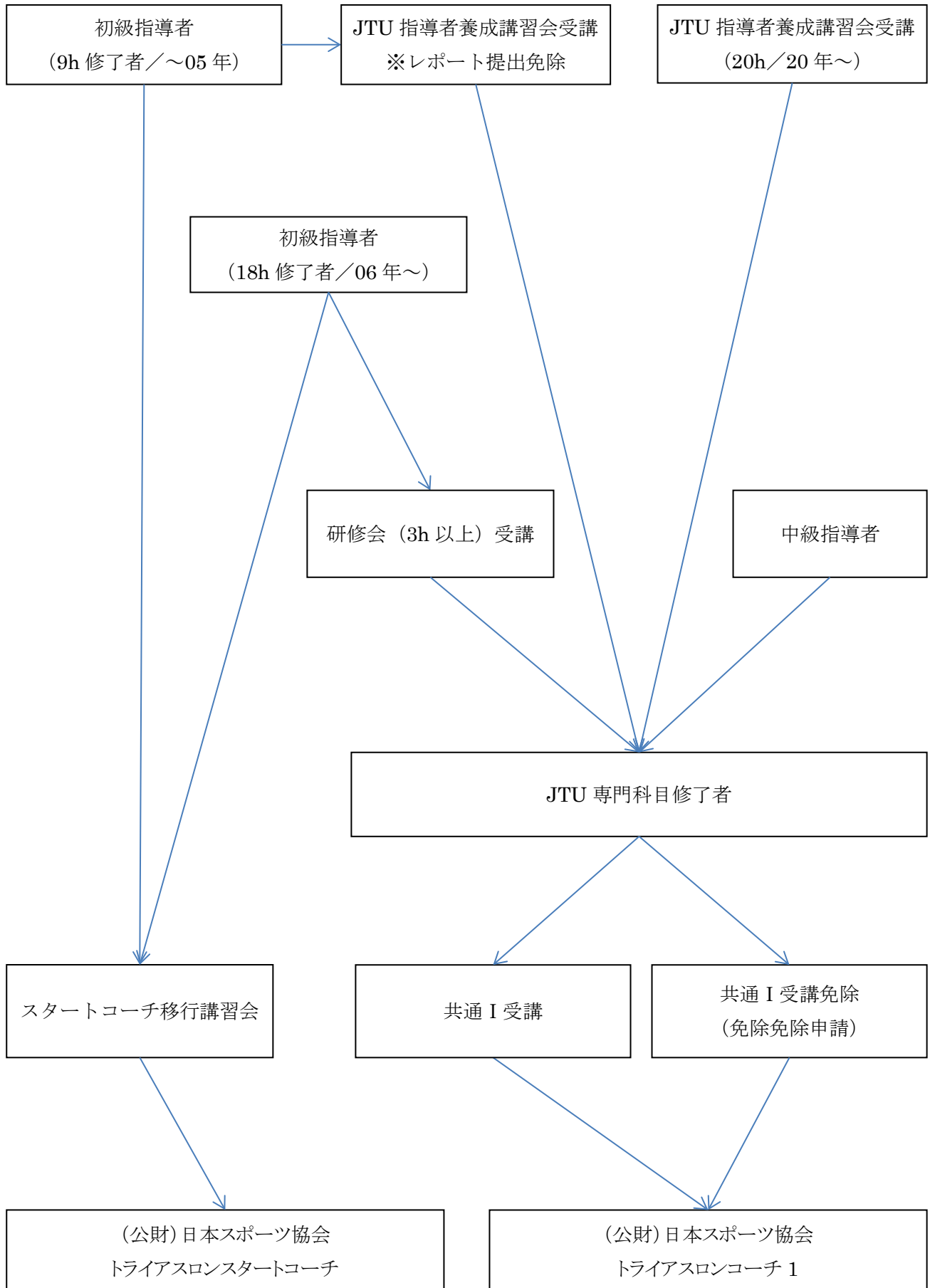
### 3. 共通科目受講料 3,230 円（リファレンスブック代、郵送料を含む）

スタートコーチ登録料 初回 18,000 円（4年間）／更新 15,000 円（4年間）

### 4. 共通科目の受講免除については規定なし。他の JSPO 指導者資格を保有している場合も、自宅学習＋オンラインテストの受講は必要。

以上

## 指導者資格取得手順



更新：2021年4月1日

## 1. 国体監督

- (1) 2013年から、国体の正式競技の監督は、日本スポーツ協会（以下、JSPO）の指導者資格保有が義務となった
- (2) 2016年から、トライアスロンは正式競技となった。

従って、2016年以降はJSPOの指導者資格を持っていないとトライアスロン競技の監督には就任できない。

- (3) 対象となるのはコーチ1～4、教師、上級教師の6資格。（スタートコーチは対象外）
- (4) どの資格を保有義務とするかは、各競技の中央競技団体（トライアスロンの場合はJTU）が決定する。
- (5) 2021年現在、トライアスロンの指導者資格で保有義務とされているのは「コーチ1」のみ。

従って、現状では「JSPO トライアスロンコーチ1」の資格を保有していれば、国体の監督に就任する条件を満たす。なお、2021年の三重国体については、2021年4月1日までにコーチ1の登録を済ませる必要がある。

## 2. 初級指導者資格の段階的廃止

2019年度からJSPOの指導者資格に「スタートコーチ」が新設された。「初級を保有しているが、コーチ1は取得未定または不要」という指導者については、スタートコーチの資格を取得する。初級指導者養成講習会の最終開催は2019年度。また、2020年度に更新した初級保有者もいるため、最終の有効期間は「2020年4月1日～2024年3月31日」となる。これに合わせて2021年度から段階的に資格廃止の対応を進める。

年度	対象者	発行修了証／移行講習会
2020年度	2019年度講習会受講者および 2020年度更新者	初級指導者 有効期限：2024/03/31（※）
2021年度	有効期限：2021/03/31	2021年度以降の スタートコーチ移行講習会を 受講可能
2022年度	有効期限：2022/03/31	
2023年度	有効期限：2023/03/31	
2024年度	有効期限：2024/03/31 （※が該当）	

（2024年3月31日をもって、初級指導者資格は廃止）

※スタートコーチが日本トライアスロン連合専門科目修了者に移行を希望する場合は、JTUに相談する。  
初級18時間修了者に限り、研修会（3時間以上）を受講することで、これを認める。

以上

# 7

## (公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 指導者資格に係る問い合わせ先など

### 1. メールの送信先

(1) JTU 指導者養成委員会 (担当: 矢野委員長)

メール: [stay-dream.ryu@rapid.ocn.ne.jp](mailto:stay-dream.ryu@rapid.ocn.ne.jp)

(2) JTU 事務局

メール: [jturoffice01@jtu.or.jp](mailto:jturoffice01@jtu.or.jp)

### \*メール送信時の基準

- ・上記に同報送信する。
- ・「件名」は次のように明記する。  
例. 「指導者養成講習会参加資格について」など

### 2. 指導者登録システムと支払い方法

(1) 登録料は指導者登録システムに登録の上、選択した支払い方法にて入金する。

(2) 指導者登録システムの URL は別途案内する。

(3) 支払方法

- ・コンビニ払い
- ・ペイジー対応のインターネットバンキング、ATM
- ・クレジットカード

### 3. 公益社団法人 日本トライアスロン連合 (JTU) 所在地

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 Japan Sport Olympic Square 708

メール: [jturoffice01@jtu.or.jp](mailto:jturoffice01@jtu.or.jp)

ウェブサイト: <http://www.jtu.or.jp/>

以上